



## 平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 セキド

コード番号 9878 URL <http://www.sekido.com/ir/index.php>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関戸 正実

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 弓削 英昭

TEL 03-6273-2053

四半期報告書提出予定日 平成26年10月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第2四半期の業績(平成26年2月21日～平成26年8月20日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	4,599	△20.6	△232	—	△261	—	△231	—
26年2月期第2四半期	5,790	△26.2	△27	—	6	—	66	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	△16.36	—
26年2月期第2四半期	4.72	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年2月期第2四半期	7,919	—	3,445	—	43.5	243.06
26年2月期	7,956	—	3,694	—	46.4	260.59

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 3,445百万円 26年2月期 3,694百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	1.00	1.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年2月21日～平成27年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△7.7	110	23.6	40	△58.8	50	△53.3	3.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期2Q	14,204,289 株	26年2月期	14,204,289 株
27年2月期2Q	28,005 株	26年2月期	27,556 株
27年2月期2Q	14,176,461 株	26年2月期2Q	14,177,743 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、4月1日に施行された消費税率引き上げの影響により、増税前の駆込み需要と増税後の消費の反動減が顕著でありました。

当業界におきましては、一部の高額腕時計や高額ブランドバッグなどでは消費税増税による売上高への影響が顕著に見られた反面、全体としては、長引く円安や材料費高騰の影響による消費者物価の上昇傾向を受け、基本的には消費に慎重な姿勢も窺われ、売る側としては、駆込み需要をいかに取込むか、また、反動減の影響をいかに小さく抑えるかが焦点となりました。

このような環境下、当社は、前事業年度末より在庫確保に努めるとともに、チラシ販促とDM販促の投入強化を図り、増税前の駆込み需要の取込みについては、一定の成果を上げることができました。増税後は顧客データを活用したDM販促による人気ブランド商品やプライベートブランド商品の販売キャンペーンや特設売場での催事を展開するなど、早期の売り上げ回復に努めましたが、消費税増税の影響は想定以上に長期化し、売上高は計画比、前年比とも大きく落とす結果となりました。

一方で、主力事業であるファッション事業の今後の展開として、小売法人向けの商品供給や販売業務委託などによる売上の拡大に着手しております。国内免税品販売のリーディングカンパニーであるラオックス株式会社との業務提携を通じ、今後、それぞれの経営資源を有効に活用した効率的な協業を深めることにより、事業拡大を目指してまいります。

これらの結果、売上高は4,599百万円(前年同期比20.6%減)、営業損失は232百万円(前年同期は27百万円の営業損失)、経常損失は261百万円(前年同期は6百万円の経常利益)となりました。また、特別利益として投資有価証券売却益49百万円を、特別損失として第3四半期に売場面積の減床により効率化を図る改装を実施する2店舗について、減床部分の設備の除却見込み額10百万円を計上した結果、四半期純損失は231百万円(前年同期は66百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## [ファッション部門]

ファッション部門においては、増税前の駆込み需要の取込みについては、高単価商品を中心に売上増が見られたものの、増税後の売上減が大きく影響し、売上高は4,390百万円(前年同期比21.7%減)、セグメント利益は20百万円(前年同期比91.4%減)となりました。

## [賃貸部門]

賃貸部門においては、賃貸物件の契約終了などにより、売上高は80百万円(前年同期比9.4%減)、セグメント利益は20百万円(前年同期比6.2%増)となりました。

## [その他]

その他の部門では、空調設備やLED照明などの販売が好調に推移し、売上高は127百万円(前年同期比35.3%増)、セグメント利益は5百万円(前年同期比75.2%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産につきましては、総資産は7,919百万円となり、前事業年度末に比べ36百万円減少いたしました。これは主に、消費税増税前の駆込み需要に備えた商品在庫の消化により、商品が374百万円減少し、現金及び預金が353百万円増加したことなどによるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債につきましては、負債合計は4,473百万円となり、前事業年度末に比べ211百万円増加いたしました。これは主に、約定弁済により長期借入金137百万円、社債20百万円が減少したほか、消費税増税後の売上減少に伴う仕入の減少及び販売管理費の抑制などにより仕入債務が49百万円、未払金が51百万円減少しましたこと、前事業年度からの取組んできた財務基盤強化策として運転資金の調達等により短期借入金が増加したことなどによるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産につきましては、純資産合計は3,445百万円となり、前事業年度末に比べ248百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失231百万円の計上によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は43.5%(前事業年度末は46.4%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ255百万円増加し809百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は79百万円(前年同期比58.3%減)となりました。これは主に、税引前四半期純損失222百万円を計上しましたが、消費税増税の影響による仕入債務の減少が59百万円あったものの、たな卸資産が374百万円減少したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は132百万円(前年同期比89.1%増)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入が78百万円ありましたが、定期預金の預入による支出98百万円、店舗の移転等に伴う有形固定資産の取得による支出104百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果増加した資金は309百万円(前年同期比369.0%増)となりました。これは主に、短期借入金の純増加額547百万円、長期借入れによる収入250百万円、長期借入金の返済による支出407百万円、社債の償還による支出20百万円、リース債務の返済による支出33百万円などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成26年10月3日)公表いたしました「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正並びに特別損益の計上に関するお知らせ」の「2. 通期業績予想の修正について」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年2月20日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	699,113	1,053,090
売掛金	348,559	406,951
商品	4,296,687	3,922,367
その他	290,556	271,438
貸倒引当金	△8,849	△8,875
流動資産合計	5,626,067	5,644,972
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	386,639	397,658
土地	854,400	854,400
その他(純額)	183,529	195,640
有形固定資産合計	1,424,569	1,447,699
無形固定資産	54,825	55,746
投資その他の資産		
敷金及び保証金	734,352	679,535
その他	116,441	91,345
投資その他の資産合計	850,794	770,881
固定資産合計	2,330,189	2,274,326
資産合計	7,956,256	7,919,299
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	153,195	61,895
買掛金	300,941	343,037
短期借入金	1,727,588	2,253,944
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
リース債務	69,420	73,431
未払金	247,986	196,316
未払法人税等	32,700	18,400
賞与引当金	19,000	8,400
店舗閉鎖損失引当金	24,756	10,142
その他	99,113	111,671
流動負債合計	2,714,702	3,117,238
固定負債		
社債	40,000	20,000
長期借入金	1,010,358	873,337
退職給付引当金	137,598	130,280
役員退職慰労引当金	110,057	114,272
繰延税金負債	5,594	7,290
リース債務	83,054	57,833
資産除去債務	6,968	7,963
その他	153,608	145,379
固定負債合計	1,547,240	1,356,356
負債合計	4,261,942	4,473,595

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年2月20日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,979,932	2,979,932
資本剰余金	599,704	599,704
利益剰余金	107,359	△138,709
自己株式	△4,028	△4,086
株主資本合計	3,682,967	3,436,840
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,346	8,863
評価・換算差額等合計	11,346	8,863
純資産合計	3,694,314	3,445,703
負債純資産合計	7,956,256	7,919,299

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年8月20日)
売上高	5,790,028	4,599,793
売上原価	4,373,332	3,409,213
売上総利益	1,416,695	1,190,579
販売費及び一般管理費	1,444,673	1,422,628
営業損失(△)	△27,978	△232,048
営業外収益		
受取利息	1,682	1,397
受取配当金	789	792
役員退職慰労引当金戻入額	900	920
店舗閉鎖損失引当金戻入額	45,304	5,089
還付消費税等	—	5,839
その他	8,558	5,682
営業外収益合計	57,234	19,720
営業外費用		
支払利息	21,746	38,394
支払手数料	—	8,880
その他	1,029	2,126
営業外費用合計	22,776	49,401
経常利益又は経常損失(△)	6,480	△261,729
特別利益		
投資有価証券売却益	—	49,131
受取保険金	78,595	—
特別利益合計	78,595	49,131
特別損失		
事業撤退損	5,424	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	10,142
特別損失合計	5,424	10,142
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	79,651	△222,740
法人税、住民税及び事業税	13,197	9,761
法人税等調整額	△480	△609
法人税等合計	12,717	9,152
四半期純利益又は四半期純損失(△)	66,934	△231,892



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年8月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	79,651	△222,740
減価償却費	37,517	57,141
受取保険金	△78,595	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△49,131
賞与引当金の増減額(△は減少)	△37,150	△10,600
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△48,255	△14,613
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,195	△7,317
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,952	4,215
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△475	26
受取利息及び受取配当金	△2,472	△2,189
支払利息	21,746	38,394
売上債権の増減額(△は増加)	214	△44,462
たな卸資産の増減額(△は増加)	△216,565	374,320
仕入債務の増減額(△は減少)	469,711	△59,708
未払金の増減額(△は減少)	△35,692	△35,517
未払消費税等の増減額(△は減少)	△58,304	72,632
その他	26,947	40,865
小計	161,035	141,314
利息及び配当金の受取額	1,057	1,073
利息の支払額	△22,550	△39,085
法人税等の支払額	△27,197	△23,681
保険金の受取額	78,595	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	190,939	79,620
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△168,000	△98,000
有形固定資産の取得による支出	△8,514	△104,704
投資有価証券の売却による収入	—	78,936
差入保証金の差入による支出	△40,651	△426
差入保証金の回収による収入	151,624	29,277
その他	△4,610	△37,736
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,151	△132,654
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	238,546	547,000
長期借入れによる収入	—	250,000
長期借入金の返済による支出	△104,022	△407,665
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
リース債務の返済による支出	△30,044	△33,488
設備関係割賦債務の返済による支出	△9,786	△13,354
配当金の支払額	△8,759	△14,382
その他	△49	911
財務活動によるキャッシュ・フロー	65,884	309,020
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	186,690	255,976
現金及び現金同等物の期首残高	442,447	553,113
現金及び現金同等物の四半期末残高	629,138	809,090

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期損益計 算書計上額 (注) 3
	ファッション	賃貸部門	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,606,089	89,367	5,695,456	94,571	—	5,790,028
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,606,089	89,367	5,695,456	94,571	—	5,790,028
セグメント利益	240,394	19,400	259,794	23,597	△276,911	6,480

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり外商部門等であります。

2. セグメント利益の調整額△276,911千円は、本社経費等の調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の経常利益としております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成26年2月21日 至平成26年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期損益計 算書計上額 (注) 3
	ファッション	賃貸部門	計			
売上高						
外部顧客への売上高	4,390,899	80,957	4,471,857	127,935	—	4,599,793
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,390,899	80,957	4,471,857	127,935	—	4,599,793
セグメント利益又は損失 (△)	20,791	20,610	41,401	5,857	△308,988	△261,729

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり外商部門等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△308,988千円は、本社経費等の調整額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の経常損失としております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。